

2018年度後期 学群教育改善計画

学群(学部)名	看護学群
学群(学部)長名	原 玲子

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。 ※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。		
①	課題	「継続」 事前・事後学習の方法や授業中に集中する方法が工夫されているが、学生に対する「事前・事後学習」の意識付けにつながる工夫が必要である。
	理由	授業内容を理解し、知識を習得していく過程で、学生が自ら、事前・事後学修は必要と認識することが重要である
②	課題	「継続」 昨年度は、ルーブリックに関するFDを行い、評価方法として、ルーブリックの作成が定着してきた。今後は、科目の拡大と、ルーブリックの内容、評価者などの関係を検討する必要がある。
	理由	ルーブリックを作成しても、技術試験など複数の教員が行うことから、評価に差があると不満を持つ学生もいることから、複数の教員が行わなければならない状態の場合など、公平な評価に対する検討が必要である。
③	課題	「継続」 電子書籍を使っている科目では、授業の事前・事後学修での活用状況が把握できるなどの効果も見えてきたが、PC必携化を踏まえて、電子教科書の検討およびPCの活用が習慣になるような方法や体制の検討が必要である。
	理由	看護は、急激に、ICTが進んでおり、PCの必携を機会に、ICT教育を充実させる必要がある。
1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。		
①	・「継続」 事前・事後学修については、引き続きの課題である。今期も「講義最初の到達目標提示」「小テスト」「レポート」「課題の提示」等の工夫がされていた。各科目において、事前・事後学修をどのように行っているのか、その方法をどのように評価しているのか等の情報を共有し、FD等を通して、効果的な方策を検討する。	
②	・「継続」 看護学群の将来構想として、地域包括ケアを推進できるナースの育成をめざしている。PC必携を契機に、道具および学生の能力を引き出すような看護情報学に関するカリキュラムについて検討する。	
③	・「継続」 コモンズの整備に伴い、300講義室の視聴覚の工事も行われたが、ホワイトボードに板書すると、文字が残ってしまい、スクリーンとしての機能を果たさなくなる。ホワイトボードに映る映像は、鮮明さが低下し、画面に切れ目が入り、逆に「見難い」状況が改善されていない。授業進行において重要なことなので、ハードの側面について検討を行う。	

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。	
・事前学習をしないとグループ討議に支障があるように工夫する。事後学修では、振り返りを課題とし一定の成果が見られた。 ・Moodleに事前に講義資料を掲載していることについては、「よかった」との学生の評価がある。 ・PCの必携化を受けて、参考資料は、電子システムで配信し、学生個々が活用できるように工夫した。	
2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。	
・教員会議で紹介し、情報を共有する。 ・看護学群のFD等を通して、事前・事後学修時間の確保を促進する方法等の検討やICTを強化したカリキュラム等について検討について検討を進める。	